

5 . モデリング基礎 (Annotation)

5 - 1 2 D 図面の作成

Annotation (アノテーション) は OneSpace Designer のアプリケーションモジュールで 3 D モデルを 2 D 図面に変換するモジュールです . ここでは , 図 1 のようなシャフトを二次元図面化することで Annotation の基本的な作業を練習します . では , Shaft をロードしてください .

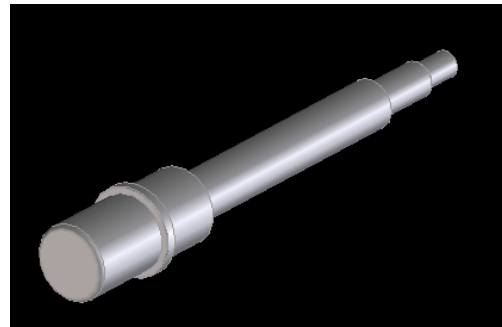


図 5.1 Annotation に用いる Shaft

まず , Annotation モジュールを追加します .

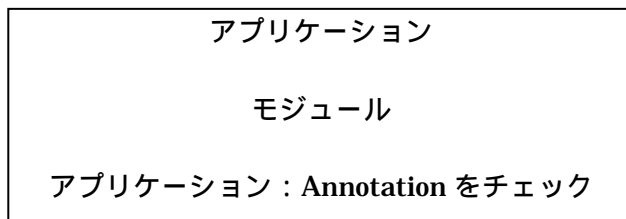


図 5.2 Annotation 起動画面



Annotation アプリケーションが起動したら図面作成の準備をします。

メインメニュー：図面

図面

シート枠：タイプ A4

ビュー：正面以外チェックを外す

オーナー：ビューポート内のシャフトを選択

確認

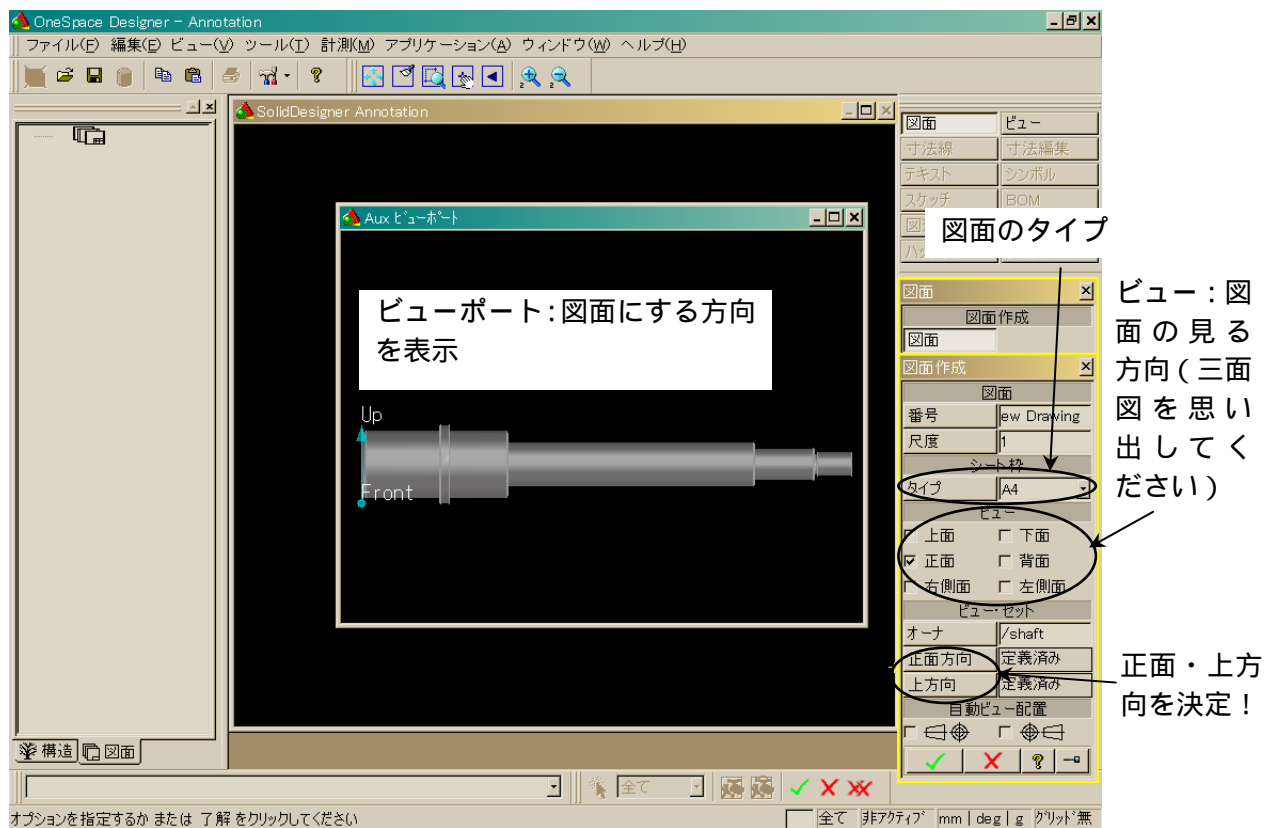


図 5.3 図面作成

次にビューの配置を行います。設定された図面にビューを置いていきます。

ビューの配置が終了したら更新してください。

ビュー
更新
更新するビューの選択
確認

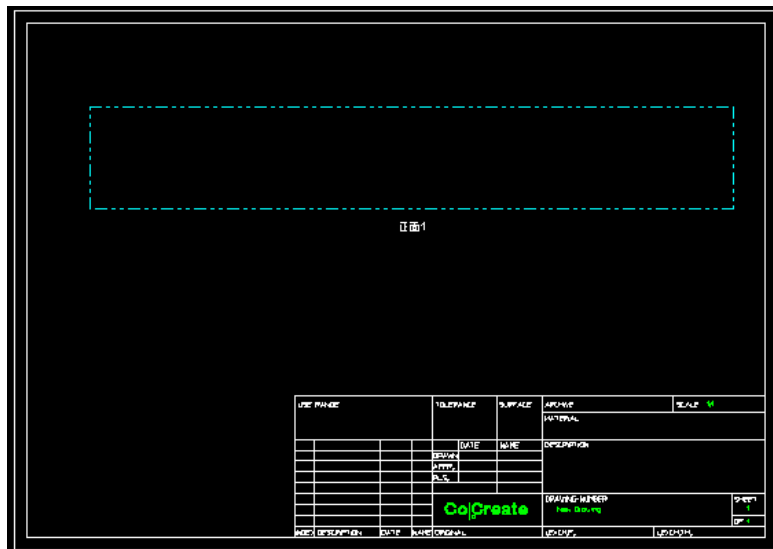


図 5.4 ビュー配置画面

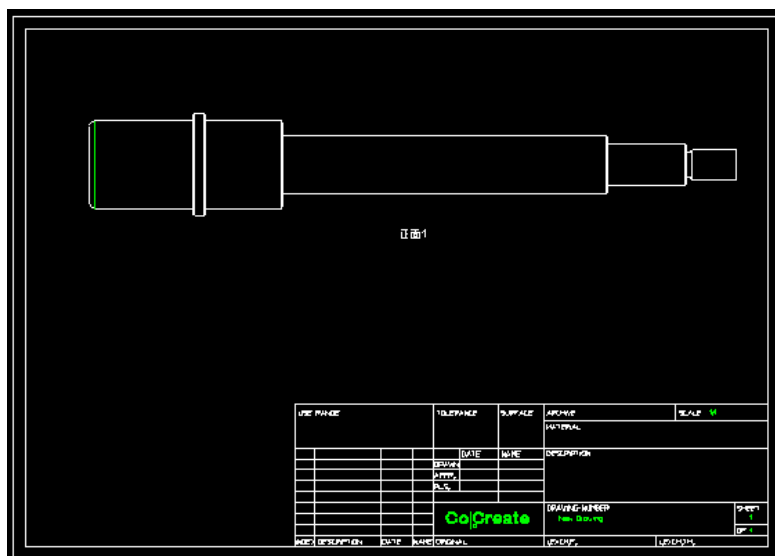
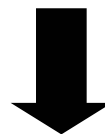


図 5.5 ビュー更新画面

次に寸法を入れていきます。
 まず、寸法の規格を JIS に設定します。

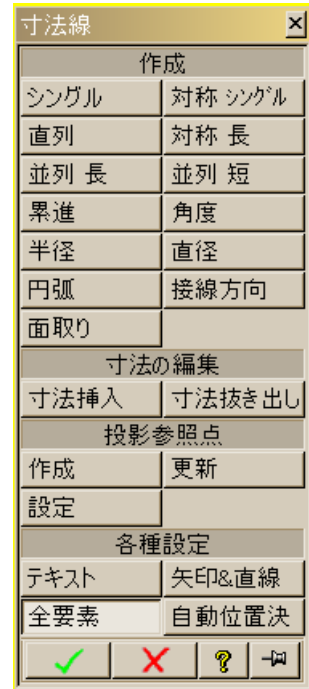
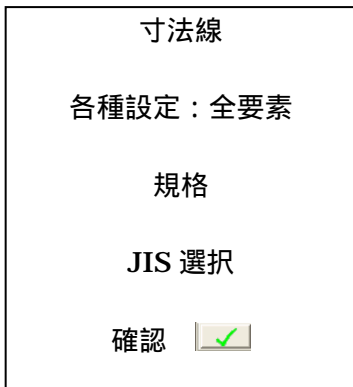


図 5.6 寸法線設定

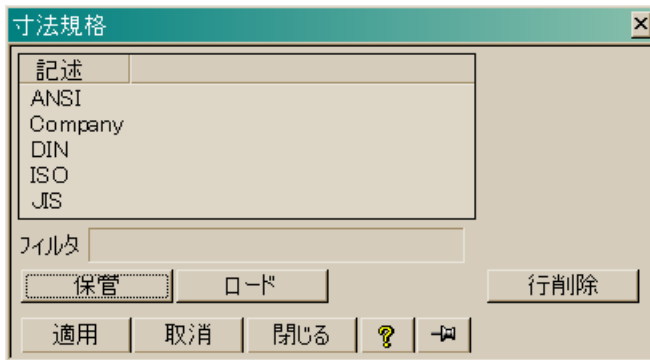


図 5.7 寸法規格で JIS を選択

次に A4 紙では、寸法が全て入りそうにないので縮尺を変更します。

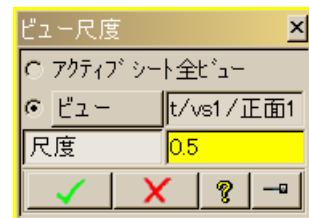
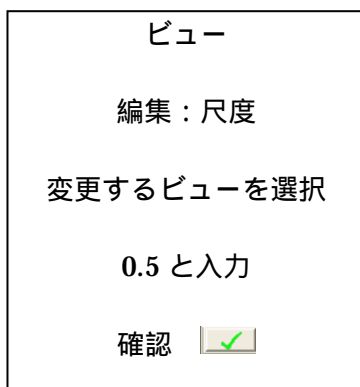


図 5.8 尺度変更

次に寸法を入力していきます。

寸法線
作成：シングル
水平をチェック
寸法を入れる線を選択
確認 <input type="checkbox"/>

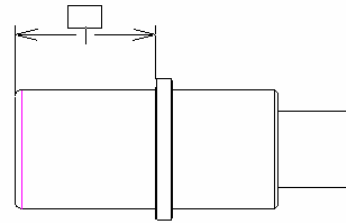


図 5.9 寸法入力画面

これで寸法が入りました。残りの寸法を入れてください。

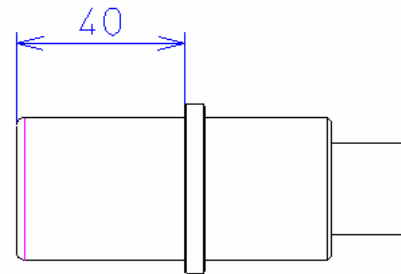


図 5.10 寸法入力画面 2

また、Annotation は 3 D モデルと連動しています。3 D モデルの寸法を変更して、Annotation 画面でビューの更新を行ってください。

5 - 2 保管

2 D 図面と 3 D モデルとは連動してますので保管形式は、バンドル(*.bdl)形式で保管します。

ファイルタイプの
選択

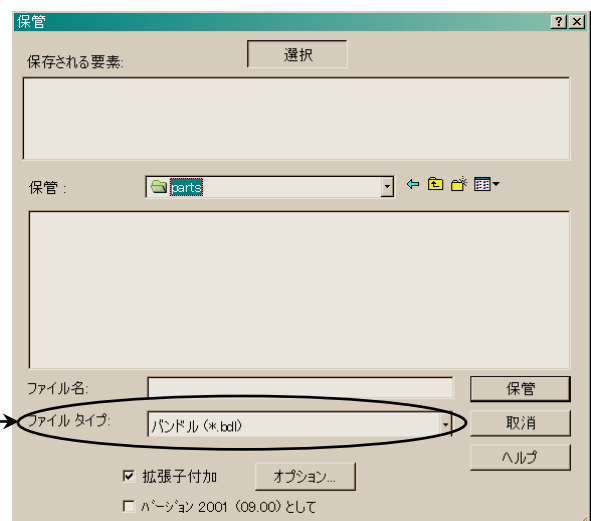


図 5.11 ファイルの保管